

これからも安心して住み続けられる めぐもりのあるまちづくり



伊 奈 町

伊奈町 企画課

担 当 政策企画担当

TEL 048-721-2111（内線2216）

E-mail kikaku@town.saitama-ina.lg.jp

《 報道発表資料 》

令和 8 年 8 月 25 日

発表タイトル

令和8年第3回伊奈町議会（定例会）

別紙のとおり。

〒362-8517

埼玉県北足立郡伊奈町中央四丁目355番地

電話：048-721-2111（代表）

FAX：048-721-2136

URL：<https://www.town.saitama-ina.lg.jp>



令和 8 年第 3 回伊奈町議会（定例会）

一 般 質 問 一 覧 表

発言順	質問議員	質問事項	質問要旨
1	川内雅人 一問一答方式	1 シニアの活躍と町商業の維持・発展について	1 町が施策を進める上での、シニア世代の定義は。
			2 町内企業の後継者不足・技術継承の課題について、町はどのように認識しているか。
			3 町として、専門的な知識や技能を持つシニア人材を地域資源として把握し、必要とする事業者につなぐ仕組みを整備する考えはあるか。
			4 町内シニア人材の周辺自治体への流出に対する認識は。
		2 地域運営組織（RMO）導入による地域活動の強化について	1 伊奈町における行政区加入率の推移、担い手の高齢化・後継者不足の実態について、町はどのように把握しているか。
			2 令和 7 年度時点で、町には 9 団体の RMO があるが、各々の主な構成団体と、取組は。
			3 総務省が推進する「地域運営組織」について、町は制度内容や全国的な普及状況をどの程度把握しているか。
			4 全国の RMO で実施されている活動のうち、町で特にニーズが高いと考えられる分野は何か。
2	藤原義春 一問一答方式	1 生成 A I の行政活用の現状と課題	1 本町において、生成 A I を試験的に利用している部署や業務はあるか。また、職員からのニーズや意見を把握している場合は、その内容も併せて伺う。
			2 本町が生成 A I 導入にあたり、どのような点を課題として認識しているのか、現時点での整理を伺う。
			3 生成 A I の行政活用について、基本方針の検討を進めているのか。また、今後どのような方向性で議論を進めるのか。
			4 本町として、どの業務で生成 A I の活用効果が期待できると考えているのか、現時点での見解は。
			5 生成 A I 利用に関するガイドラインやルールの整備について、町としてどのように進めていくのか、現状と今後の方針は。
			6 職員向けの研修や操作トレーニングの実施予定はあるのか。また、全職員が使える体制をどのように整えていくのか。
			7 生成 A I 活用によって、町民サービスの質向上をどのように実現していくのか、町の見解は。
		2 伊奈町の起業支援と事業承継支援	1 過去 5 年間の町と商工会での、町民からの起業相談の年間相談件数は。
			2 起業相談の相談内容を差し障りのない程度で、教えてほしい。
			3 町と商工会で、起業セミナーを開催しているか。開催している場合、その主な内容は。
			4 町と商工会で事業承継に関し、実態把握を行っているか。

2	藤原義春	2 伊奈町の起業支援と事業承継支援	5 町と商工会で、事業承継セミナーを開催しているか。開催している場合、その主な内容は。
			6 元気な高齢者が増えているが、シニアの起業支援を強化する考えはあるか。
			7 起業支援と事業承継支援を進めることで、町の産業振興とどう関わるか、町の見解は。
3	木俣美千代 一問一答方式	1 キャンプ場施設の安全性確保と利便性の向上について	1 過去3年間の年間利用の推移は。
			2 炊飯棟の屋根を撤去するに至った経緯と、安全上どのような問題があったのか。
			3 計画的に予算を確保し、施設機能を回復する考えはあるか。
		2 流産・死産等を経験された家族へのグリーフケアについて	1 流産・死産等を経験された家族への町の支援体制は。
			2 グリーフケアについて理解を深める職員研修は行われているか。
			3 同じ経験をした人同士が支え合うピアサポートや専門相談窓口などの情報提供体制は。
		3 新生児聴覚検査後に難聴が確認された乳幼児への支援と手話言語獲得環境の整備について	1 新生児聴覚検査後に難聴が確認された乳幼児に対しての相談支援体制は。
			2 難聴が確認された乳幼児の補聴器や人工内耳だけではなく、手話言語を含めた多様なコミュニケーション手段についての情報提供は。
			3 新生児聴覚検査後に難聴が確認された乳幼児に対し、「伊奈町人と人をつなぐ手話言語条例」の理念に基づく手話言語獲得支援はどのように行われているのか。
			4 新生児聴覚検査後に難聴が確認された乳幼児とその家族に対し、ろう者や手話に携わる方たち、家族とつなぐ情報提供体制は。
4	仲島雄大 一問一答方式	1 伊奈町犯罪被害者等支援条例の実効性ある運用について	1 犯罪被害か分からない段階でも、町民が迷わず相談でき、本人の意思と安全に配慮しながら必要な支援につなげる総合的対応窓口の体制と運用について伺う。
			2 見舞金の対象外又は不支給となる場合にも、伊奈町犯罪被害者等支援条例第7条に基づく相談支援を継続する町の考え方と見舞金の申請期限及び個別判断の運用について伺う。
			3 条例施行後の相談対応を検証した上で、第5次犯罪被害者等基本計画を踏まえ、庁内連携、職員研修、町民への周知をはじめとする取組をどのように進め、令和8年度中に何を具体的に整備するのかを伺う。
5	戸張光枝 一問一答方式	1 やさしさの輪を広げる「フードリボンプロジェクト」事業の展開を	1 町内の子ども食堂等の運営状況と課題は。
			2 子どもの居場所を「見える化」する取組は。
			3 子どもたちが安心して食事ができる居場所を町全体で支え、「やさしさの輪」を未来へつなぐため、本町においてもフードリボン事業を一日も早く導入すべきと考えるが見解は。

5	戸張光枝	2 物価高の中、奨学金負担に対応した若者支援と選ばれる町づくりを	1 未来への投資という視点から、若者支援に係る現行制度の成果と課題をどのように認識しているか。
			2 町および町内企業等による奨学金返済支援制度の創設は。
			3 若者の生活実態の把握と若者に寄り添う相談支援体制の構築は。
			4 若者に選ばれる、住み続けてもらえる町づくりとは。
		3 フリマアプリを活用した不用物品の有効活用と歳入確保を	1 現在、町や教育現場において売却・処分している不用物品の現状をどのように把握しているか。
			2 不用物品の処分費用や売却実績はどのような状況か。
			3 新庁舎移転に伴い不用物品の有効活用と自主財源確保の観点から、新たな売却手法の導入をどのように考えているか。
			4 フリマアプリを活用することで、廃棄コスト削減と歳入確保を図る考えはあるか。
		4 騒音・ポイ捨て等の迷惑行為防止条例の制定を	1 町に寄せられている騒音、ポイ捨てなどの生活環境に関する苦情・相談をどのように分析し、課題を認識しているか。
			2 騒音や深夜営業など、近隣住民の生活環境に影響を及ぼす迷惑行為に対し、町はどのような対応を行っているか。
			3 道路や公園等におけるポイ捨て防止や環境美化、幼児やペットの安全確保に向けた現在の取組をどのように評価しているか。
			4 他自治体が制定している迷惑行為防止条例や環境美化条例について調査・研究は。
			5 町民・事業者・行政が一体となって生活環境を守るため、騒音、ポイ捨て等を対象とした「迷惑行為防止条例」の制定を検討する考えはあるか。
			6 誰もが安全で安心して暮らせる住環境を次世代へ引き継ぐため、条例制定を含めた生活環境保全に対する決意を伺う。
6	山野智彦 一問一答方式	1 空家被害改善のスピードアップを求めて	1 越境被害をもたらしている空家が、管理不全空家と認定されるか否かの判定は、建物だけで行われるのか、敷地内樹木が越境し隣地等に被害を及ぼしている場合も含まれるのか、町の基準を伺う。
			2 管理不全空家の所有者の公表を行っている自治体が多々ある。町としての公表の仕組みを導入する予定はあるか。
			3 寝屋川市が導入した空き家税について、その内容や目的を町としてどう評価するか、また町での導入についての見解はどうか。
			4 連絡のつかない所有者へ町として「取次ぎ」を行うことを制度化してほしいが見解は。
		2 特定健診の血圧基準の見直しを踏まえた、医療と医療費適正化に向けた保健施策について	1 厚生労働省が、高血圧の基準を2段階とした。収縮期血圧160mmHg以上、または拡張期血圧100mmHg以上の場合は「すぐに医療機関の受診を」とし、収縮期血圧140～159mmHg、または拡張期血圧90～99mmHgの場合は「生活習慣を改善する努力をした上で、数値が改善しないなら医療機関の受診を」としたが、町はこの基準追加を住民にどのように周知しているか。

6	山野智彦	2 特定健診の血圧基準の見直しを踏まえた、医療と医療費適正化に向けた保健施策について	2 町は、町の特定健診で「要受診」と判定された住民のうち、実際に医療機関を受診した人数や割合を把握しているか。 3 町は、主に高齢者について、血圧降圧剤を含む生活習慣病治療薬の多剤併用（5剤以上等）の実態を把握しているか。 4 町が実施している特定保健指導について、対象者の血圧・血糖・脂質等の改善効果を測定・評価する仕組みはあるか。 5 町として、生活習慣病対策・健診施策を、「一律の数値基準に基づく対応」から「個人のリスクや年齢、生活状況に応じた個別化された対応」へと転換していく方針を持っているか。
		3 子ども・子育て支援金及び関連の新制度について	1 支援金を社会保険料から徴収することに正当性があるのか、町の見解は。 2 町における加速化プラン関連の令和8年度以降の各年度について、総予算額見込みと町が国民健康保険料に上乗せして徴収することになる支援金の総額見込みを伺う。 3 毎年、段階的に増加する支援金の今後の負担増について、町はどのような形で住民周知を行っているか、また支援金率が引き上げられる都度、あらためて周知を行う予定はあるか伺う。 4 「こども誰でも通園制度」の現時点での利活用状況について、①制度の実施施設数・実施率、②制度開始後の利用者数・利用実績、③現場（保育士・施設）からあげられている声および町として把握している課題を伺う。
7	大沢淳 一問一答方式	1 新庁舎の機能向上について	1 屋外分煙施設整備の考え方は。 2 窓口でのキャッシュレス決済及びセミセルフレジ等の導入の検討状況は。
			1 障害者就労支援における現状の課題をどのように認識しているか。 2 就労継続支援A型事業所の利用促進及び事業所の確保についての考えは。
		3 教員確保と教育環境の充実について	1 小中学校における教員の欠員及び臨時的任用教員の配置状況は。 2 埼玉県における教員確保の状況について、教員採用試験の志願倍率や採用状況等を踏まえ、以前と比較してどのように認識しているか。 3 教員不足は児童生徒の学習環境や学校運営にどのような影響を与えていると認識しているか。 4 茨城県では臨時的任用教員の正規化を進めているが、埼玉県でも同様の取組が進むよう県へ要望すること。
			1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
		4 中学校給食費の継続的な無償化について	1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
			1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
		4 中学校給食費の継続的な無償化について	1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
			1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
		4 中学校給食費の継続的な無償化について	1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
			1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
		4 中学校給食費の継続的な無償化について	1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。
			1 国に対し中学校給食費無償化の制度化及び必要な財源措置を求めるとともに、町独自の継続的・恒久的な無償化を実施することについて。 2 町立中学校以外に通学する生徒や特別支援学校の生徒、食物アレルギー等により給食の提供を受けられない生徒への実質的に同等の支援を行うことについて。 3 給食の質、安全性を後退させることなく、地産地消や食育を推進しながら中学校給食費無償化を実施することについて。

8	大野興一 一問一答方式	1 成年後見制度について	1 過去5年間を振り返り、利用者の状況はどうか。
			2 改正成年後見制度の概要について。
			3 認知症の高齢者が増加しているが、成年後見支援センターの活動状況は。
		2 伊奈町の水田政策について	1 水田耕作者の人数は。また、人数を増やすための今後の展望は。
			2 食糧法改正の特徴と伊奈町の米作の現状は。
			3 種苗法改正の概要は。
		3 地域部活動の進捗状況について	1 部活動の地域移行は進んでいるか。
			2 校内部活動の現状は。
9	栗原恵子 一問一答方式	1 大規模災害時における通信手段の多重化と低軌道衛星通信の活用について	1 現在、本町が災害時に利用できる通信手段について、それぞれの用途、通信可能区間、非常用電源、保守・訓練状況はどのようなになっているのか。
			2 災害対策本部と指定避難所との間におけるデータをどのように送受信する計画となっているのか。
			3 低軌道衛星通信を、既存の防災行政無線や地域衛星通信ネットワークを補完するバックアップ回線として活用することについて町の見解を伺う。
			4 災害対策本部と指定避難所との通信を想定し、可搬型低軌道衛星通信端末とポータブル電源を用いた実証実験を総合防災訓練等で行う考えはないか。
		2 埼玉県県民活動総合センターの今後の在り方について	1 令和8年8月に埼玉県が実施した利用者意見聴取会について、開催状況及び利用者からの意見を町はどのように把握しているのか。また、それについて、今後県にどう伝えていく考えなのか。
			2 令和7年10月に大島町長が大野知事に提出した要望書では、報告書の再検証、代替施設・代替機能及び跡地利用の提示、公共交通機関や関係事業者への影響軽減、利用者等からの意見聴取、町への逐次の情報提供などを求めているが、これらについて、県からどのような回答、説明又は対応があったのか。
			3 現在、埼玉県では県民活動総合センターの今後の在り方について、外部委託により調査を進めているが、この調査に対し、伊奈町は所在自治体としてどのように関与し働きかけているのか。
			4 県の調査仕様では、代替施設や利用者アンケートなどは盛り込まれているが、ニューシャトルの利用者数や周辺事業者、地域経済への影響については、調査項目として明示されていない。所在自治体である伊奈町として、これらについても県に調査を求めるべきではないか。
			5 県民活動総合センターは、多様な機能を一体的に備えている。仮に縮小又は廃止を検討する場合、単に近隣の類似施設の存在だけでなく、収容人数、利用料金、予約条件、空き状況、交通利便性、宿泊機能などを含め、現在の利用者を実際に受け入れることができるのかを検証する必要があると考えるが、町の認識はどうか。また、代替施設・代替機能について、現時点で県から具体的な説明を受けているのか。

10	五味雅美 一問一答方式	1 児童・生徒への平和教育・主権者教育の充実を	1 伊奈町での児童・生徒を対象にした平和学習・平和教育取組の状況は。
			2 沖縄県辺野古の米軍基地建設現場での高校生死亡事故を受けた文部科学省の見解に対応して、町は見直すものがあるのか。見解は政治介入だとの批判があるがどう受止めるか。
			3 若年層の投票率が低い、投票参加に矮小化されない主権者教育が必要だが、どう考えるか。
			4 小針中学校での校則見直しの経緯は。
		2 外国人支援は人権保障を土台に	1 町の日本語教室の利用状況と担い手等の運営状況は。
			2 外国籍の子供や外国につながる子供など言葉の支援が必要な子供への支援の状況は。
			3 外国人を雇用する事業主は、労働者やその家族に対して日本語学習の支援に努めることとされたが、町の事業主の状況は。
			4 育成就労制度は労働者としての権利保障を重視するとしているが、町はどう関与するのか。
			5 外国人が地域や町の行事及び施策・計画に参加できる保障と支援が必要だが、町の状況は。
		3 小学校に冷却グッズ用の冷凍庫を	1 熱中症対策として、小学校に冷却グッズ用の冷凍庫の設置を。
		4 雨庭で雨水対策を	1 公園や住宅の敷地などを利用した雨庭（レインガーデン）で、雨水対策を。
11	武藤倫雄 一問一答方式	1 こども性暴力防止法の施行について	1 この法律を通じて町として実現すべきことをどう考えているか。
			2 12月25日施行に向けた準備状況はどうか。
			3 学習塾等の認定対象事業者への周知状況はどうか。
			4 今後の具体的な実施スケジュールはどうか。
		2 金利上昇で影響を受ける現役世代への経済的支援をしてはどうか	1 世帯主が20代・30代・40代の各世帯数はどうか。
			2 現役世代の経済状況について町はどのように捉えているか。
			3 世帯主が20代から40代の世帯に対して何らかの支援が必要と考えるが見解はどうか。
12	富井篤弥 一問一答方式	1 今の時代に沿った保育施設入所基準への更新を	1 保育施設入所申し込みにおいて、「自営で中心者でない場合」及び「居宅内における自営業の場合」が減点される理由を伺う。
			2 保育施設等入所の利用調整に関する基準の、職業による減点項目を見直す考えは。
			3 保育施設入所申し込みにおいて、第1子の子のみの家庭が事実上不利になっている構造について、町はどのように捉えているか。
			4 第1子からでも安心して保育施設入所申し込みができるよう基準を見直す考えは。

12	富井篤弥	2 未整備都市計画道路の今後の整備の見通しは	1 町内の都市計画道路の未整備区間では、整備の目標年度が設定されているか伺う。
			2 町内の都市計画道路の未整備区間について、整備が進まない理由や背景を伺う。
			3 町内の都市計画道路の未整備区間について、今後計画の変更や廃止といった可能性はあるか伺う。
			4 都市計画道路ではない、町が整備に意欲を示している区間について、どのような道筋で整備実現を進めていく考えか伺う。
		3 町内の調整池や調節池等の水位情報について	1 町内の調整池や調節池等の水位はどのような手法でチェックされているか伺う。
			2 町内の調整池や調節池等における水位の見える化について町の考えを伺う。
13	高橋まゆみ 一問一答方式	1 多文化共生社会に向けた取組と、国際化に伴うエスニック・アイデンティティの現状と課題について	1 在留資格別外国人数と総数は。
			2 町内における特定技能所属機関の数は。
			3 特定技能所属機関と町の連携はどうか。
			4 住民登録の際、マイナンバーカードの作成を勧めているか。
			5 地域社会との摩擦が起きぬように実施している施策と現状はどうか。
			6 教育現場における言葉や習慣の壁等の現状と課題はどうか。
			7 将来、伊奈町の子どもたちが国際社会で活躍するためには何が必要と考えるか、町教育委員会としての見解を伺う。
		2 上尾伊奈ごみ広域処理施設建設整備及び管理運営について	1 用地買収の負担割合を均等割りと決めた経緯と根拠は。
			2 新施設運営費の負担割合を15%が均等、85%を搬入ごみ量割とした経緯と根拠は。
			3 ごみ収集の運搬体制の計画はどうか。
			4 防災機能について、一時的な避難スペースの確保及び水・食料・燃料・電気等の備蓄を3日分程度としているが、施設利用者・運転員・職員・施設周辺住民それぞれ想定する人数は。
			5 余熱利用に温水プールを希望する声が多くあったが、整備しない方針とした理由と経緯の詳しい説明を求める。
		1 町内の道路改修計画及び修繕計画について	1 町では道路改修や修繕について、中長期的な修繕計画や舗装管理計画などを策定しているか。
			2 道路損傷の原因は、大型車の通行量以外で考えられることは何か。
			3 町内の主要な路線の中で舗装の損傷が著しい路線はどこか。
			4 今後の道路改修や修繕はどのように考えているか。
			5 歩道・歩行空間の整備促進とバリアフリー化の考えはあるか。
14	佐藤弘一 一問一答方式	1 町内の道路改修計画及び修繕計画について	1 町では道路改修や修繕について、中長期的な修繕計画や舗装管理計画などを策定しているか。
			2 道路損傷の原因は、大型車の通行量以外で考えられることは何か。
			3 町内の主要な路線の中で舗装の損傷が著しい路線はどこか。
			4 今後の道路改修や修繕はどのように考えているか。
			5 歩道・歩行空間の整備促進とバリアフリー化の考えはあるか。

14	佐藤弘一	2 町立小中学校体育館への空調整備状況について	1 現在の進捗状況と、来年度以降の予定は。
			2 事業を進めていくうえで、どのような課題があるか。
15	青木久男 一問一答方式	1 職員採用と退職について	1 職員採用の基本方針は何か。
			2 定期採用と臨時採用の状況を伺う。
			3 近年の応募者の前職等の状況はどうか。
			4 退職者数の推移と中途退職の具体的な理由は何か。
			5 必要な職員確保のための課題やその対策を伺う。
		2 育児や介護と仕事(公務)の両立を求めています	1 両立支援について町の基本方針を伺う。
			2 育児との両立支援策とその実績はどうか。
			3 介護との両立支援策とその実績はどうか。
			4 両立支援を推進する上での課題やその対策を伺う。

令和8年 第3回伊奈町議会(定例会)

会 期 予 定 表

日 次	月 日	曜 日	開議時刻	摘 要
第1日	9月1日	火	午前11時	○ 開 会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 諸報告(議会報告、行政報告、報告第3号、報告第4号、報告第5号) ○ 新庁舎建設特別委員会委員長の中間報告 ○ 新庁舎建設特別委員会委員長の報告に対する質疑 ○ 議案(第52号～第53号)の上程、説明、質疑、討論、採決 ○ 議案(第54号～第69号)の上程、説明 ○ 議案(認定第1号～第7号)の上程、説明、監査報告 ○ 決算特別委員会の設置 ○ 請願(請願受付第1号、第2号)の上程、説明 (行政報告、報告第3号、報告第4号、報告第5号、議案に対する質疑通告)
第2日	9月2日	水		○ 休 会 (議案調査)
第3日	9月3日	木	午前9時	○ 行政報告に対する質疑 ○ 報告第3号～第5号に対する質疑 ○ 議案に対する質疑(決算認定議案は除く)、委員会付託 ○ 請願に対する質疑、委員会付託
第4日	9月4日	金	午前9時	○ 文教民生常任委員会
第5日	9月5日	土		○ 休 会
第6日	9月6日	日		○ 休 会
第7日	9月7日	月	午前9時	○ 総務建設産業常任委員会
第8日	9月8日	火	午前9時	○ 一般質問(①川内、②藤原、③木俣、④仲島、⑤戸張)
第9日	9月9日	水	午前9時	○ 一般質問(⑥山野、⑦大沢、⑧大野、⑨栗原、⑩五味)
第10日	9月10日	木	午前9時	○ 一般質問(⑪武藤、⑫富井、⑬高橋、⑭佐藤、⑮青木)
第11日	9月11日	金		○ 休 会 (予備日)
第12日	9月12日	土		○ 休 会
第13日	9月13日	日		○ 休 会
第14日	9月14日	月		○ 休 会 (予備日)
第15日	9月15日	火		○ 休 会 (予備日)
第16日	9月16日	水	午前10時	○ 委員長報告、報告に対する質疑 ○ 討論、採決(第54号議案～第69号議案、請願受付第1号、請願受付第2号) ○ 決算特別委員会の委員会付託 ○ 議員派遣について ○ 閉会中継続審査の申し出(決算特別委員会、議会運営委員会) ○ 閉 会

令和8年 第3回伊奈町議会定例会提出議案等(9月1日開会)

議 案 番 号 等	議 案 名 等
報 告 第 3 号	専決処分の報告について
報 告 第 4 号	健全化判断比率について
報 告 第 5 号	資金不足比率について
第 52 号 議 案	伊奈町教育委員会の委員の任命について
第 53 号 議 案	専決処分の承認を求めることについて(令和8年度伊奈町一般会計補正予算(第3号))
第 54 号 議 案	令和8年度伊奈町一般会計補正予算(第4号)
第 55 号 議 案	令和8年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
第 56 号 議 案	令和8年度伊奈町中部特定土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
第 57 号 議 案	令和8年度伊奈町介護保険特別会計補正予算(第2号)
第 58 号 議 案	令和8年度伊奈町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
第 59 号 議 案	令和8年度伊奈町水道事業会計補正予算(第1号)
第 60 号 議 案	令和8年度伊奈町公共下水道事業会計補正予算(第1号)
第 61 号 議 案	伊奈町行政手続条例の一部を改正する条例
第 62 号 議 案	伊奈町印鑑条例の一部を改正する条例
第 63 号 議 案	伊奈町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
第 64 号 議 案	伊奈町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第 65 号 議 案	伊奈町税条例の一部を改正する条例

令和8年 第3回伊奈町議会定例会提出議案等(9月1日開会)

議 案 番 号 等	議 案 名 等
第 66 号 議 案	伊奈町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例及び伊奈町監査委員条例の一部を改正する条例
第 67 号 議 案	町道路線の認定について(開発行為)
第 68 号 議 案	町道路線の認定について(その他)
第 69 号 議 案	財産の取得について(AIオンデマンドバス運行車両)
認定第 1 号	令和7年度伊奈町一般会計歳入歳出決算認定について
認定第 2 号	令和7年度伊奈町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第 3 号	令和7年度伊奈町中部特定土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第 4 号	令和7年度伊奈町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第 5 号	令和7年度伊奈町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
認定第 6 号	令和7年度伊奈町水道事業会計決算認定について
認定第 7 号	令和7年度伊奈町公共下水道事業会計決算認定について